



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 災害対策部

Mail: saigaitaisaku@pt-kanagawa.or.jp





災害時における理学療法士の役割

災害リハビリテーションとは

被災者・要配慮者などの災害関連死や生活不活発(廃用症候群)等を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建、復興を支援する活動の全てをいう。

(一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会:JRAT,2019)

災害リハビリテーション支援とは



公衆衛生支援

健康支援

回復支援

生活環境支援



災害時における理学療法

- 避難所の生活環境評価と調整
- 補装具、福祉用具の選定・調整・指導
- 生活不活発病予防のための運動指導
- 他職種との連携
- 各医療機関および施設等で不足した理学療法士の
一時的な補填

対象 = 災害時要配慮者（災害時における要配慮者）とは

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人等
「ひとりでは災害に対する備えや、災害時に避難行動などが困難で、被害を受けやすい
障害者や高齢者、特殊な病気の方など、日頃から周りの支援や手助けを必要としている人」



C (Child)	子供
H (Handicapped person)	障がいを持った人
E (Elderly People)	老人
C (Chronically ill)	慢性疾患(透析・糖尿病etc)
T (Tourist)	旅行者(外国人を含む)
P (Pregnant)	妊婦

事務局 災害対策部

担当理事/部長	下田 栄次	(湘南医療大学)
副部長/会計	山田 祐介	(足柄リハビリテーションサービス)
書記	中橋 真弓	(社会医療法人 社団 三思会)
	今川 祐子	(リノア茅ヶ崎)
	松田 梓	(めぐみの里/ソール平塚)
	須貝 勝	(伊勢原協同病院)
	西谷 真亜沙	(新横浜リハビリテーション病院)
	川越 潤一	(桜が丘中央病院)
	金田 拓人	(桜が丘中央病院)
	山城 諒一郎	(ふれあい町田ホスピタル)
	前田 拓	(横浜市立大学附属市民総合医療センター)
相談役(副会長)	松本 肇	(鶴巻温泉病院)



会 員

□会員向けサービスの充実

・ 地域での会員ネットワークの強化

顔の見える、声の聞こえる関係づくり

- ・ 会員が必要とする地域の情報の共有
- ・ 市町村からの依頼に対する迅速な対応
- ・ 郡市医師会など地域の諸団体との連携強化
- ・ 地域での勉強会の活性化
- ・ 業務支援（患者情報のスムーズな流れ） ・ 就労支援
- ・ 災害時の被災会員支援



神奈川県理学療法士会

災害対策部の 役割

県 民

□理学療法士によるサービス提供の充実

- ・ 地域全体で住民を支える急性期より人生の幕引きまでのシームレスな患者対応
- ・ 地域包括ケアシステムでのサービス提供
- ・ 災害時の避難者の二次的障害予防活動
- ・ 安心して暮らせる生活支援（スポーツ含む）

災害時の会員支援

○直接支援

- ・災害対策本部の設置 → 人的派遣・物的支援の検討および実施
- ・会員の安否確認（ブロック単位） → 災害対策本部取りまとめ

○間接支援（会費減免等）の検討および実施

- ・災害で家屋損壊等の被害のあった会員への見舞金支給および年会費の減免の検討 → 自治体発行の「罹災証明書(コピー可)」を添付



日本理学療法士協会への報告および支援要請（直接・間接）

- ・災害時支援活動基本指針(ガイドライン) 災害対策本部規定 各種規定の作成
- ・災害対策委員会HP・Facebookページの運用 広報および災害時の情報提供
- ・研修会・勉強会の開催 1) 災害対策研修会 2) 災害対策キャラバン 3) 講師派遣事業
- ・2次医療圏域+a 災害時の連絡・調整担当(**エリアコーディネーター**)の選出



2017.10.31 第8回

相模原ブロック
佐藤 陽介

2016.11.27 第5回

県央ブロック
中橋 真弓※

2015.02.01 第2回

湘南西部ブロック
安藤 岳彦#

2016.02.28 第4回

県西ブロック
矢部 則明

災害時の連絡・調整担当
エリアコーディネーター
ブロック長兼務
※ 災害対策部員兼務

2019.01.22 第10回(合同開催)

横浜西部ブロック
佐藤 洋平

2015.11.15 第3回

川崎北部ブロック
白畑 賢一#

2019.02.13 第11回

川崎南部ブロック
佐藤 範佳#

2017.02.19 第7回

横浜北部ブロック
吉田 公一

2019.01.22 第10回(合同開催)

横浜南部ブロック
藤浦 達

2018.02.23 第9回

湘南東部ブロック
錦織 延洋

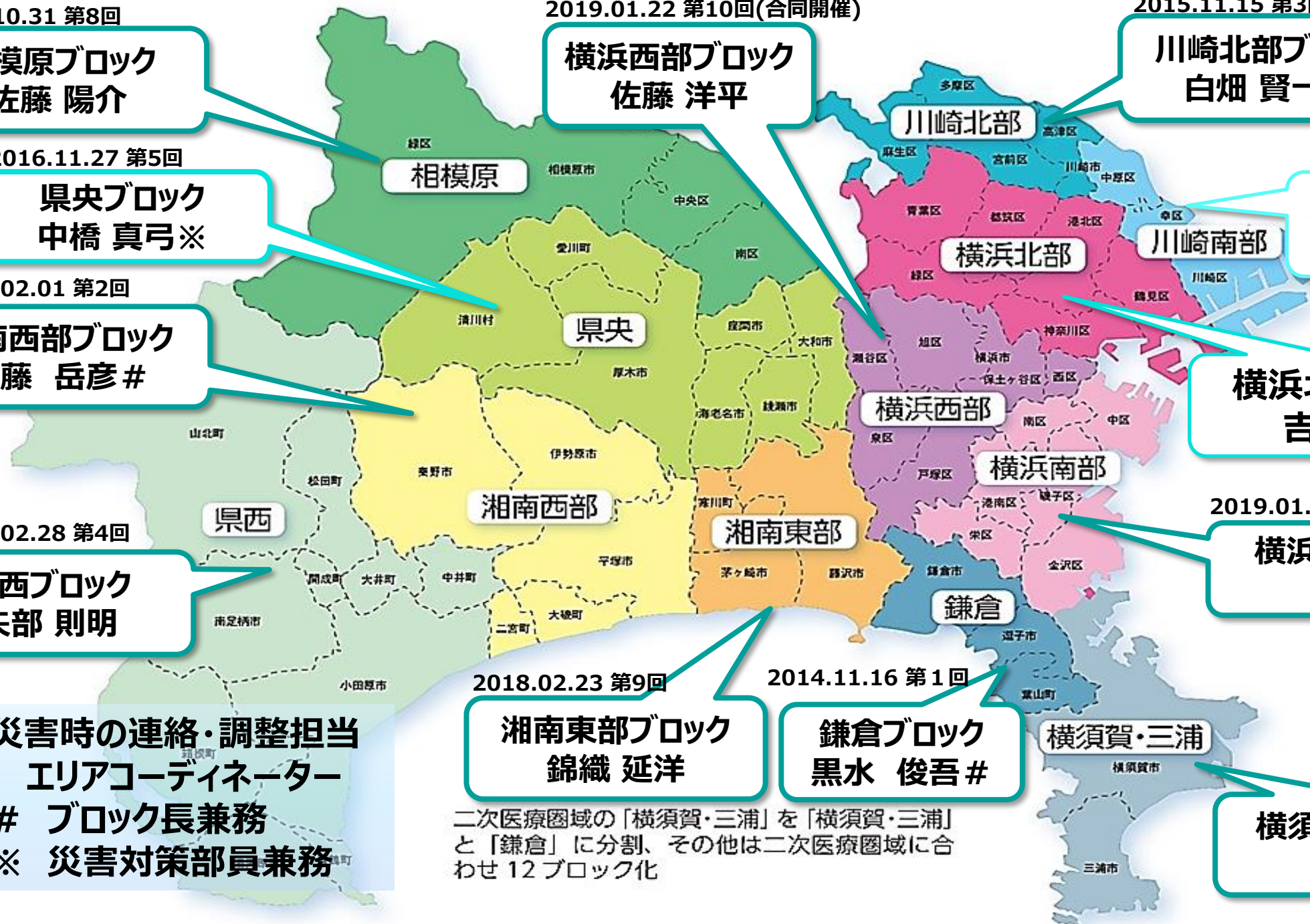
2014.11.16 第1回

鎌倉ブロック
黒水 俊吾#

2017.01.26 第6回

横須賀三浦ブロック
岸 昌親

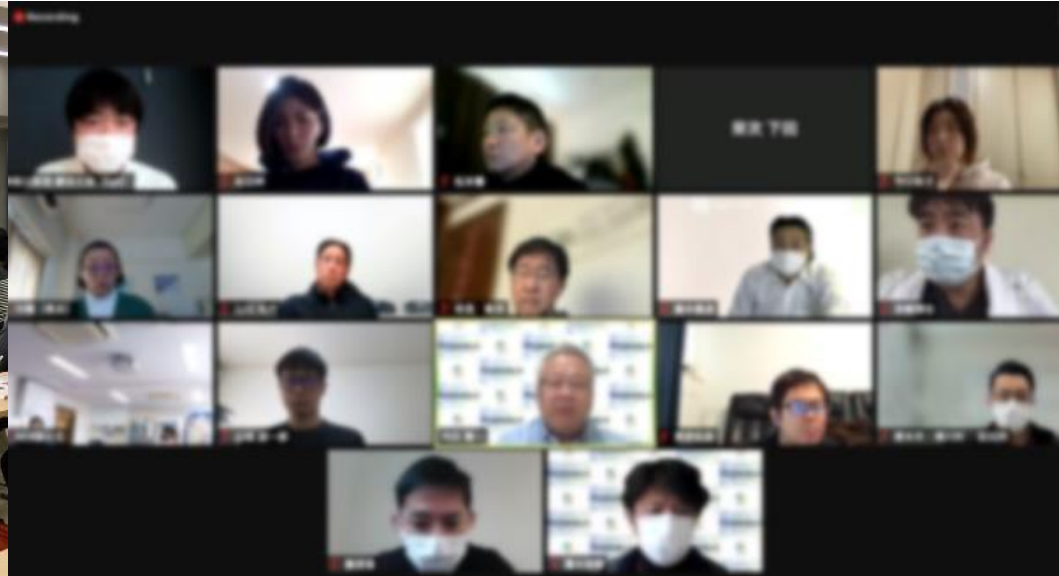
二次医療圏域の「横須賀・三浦」を「横須賀・三浦」と「鎌倉」に分割、その他は二次医療圏域に合わせ12ブロック化





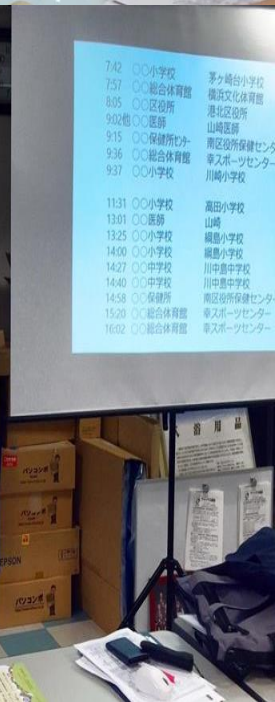
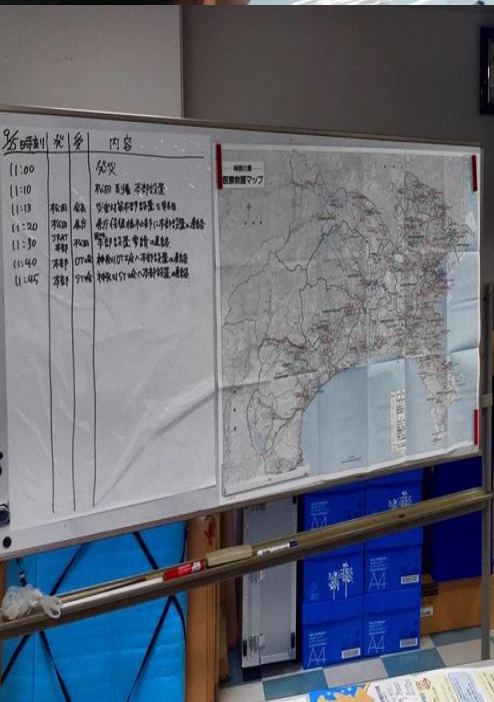
災害対策研修会(年1回)

避難所生活環境改善に向けた災害保健医療福祉支援におけるリハビリテーションとの連携について



災害対策本部立ち上げ演習 (ロジスティクス研修)

災害対策本部におけるロジスティクスの役割と
行政や災害医療チームとの情報共有や連携について



災害フェーズと関連職種チームの活動時期(神奈川県モデル)

フェーズ	第1期	第2期	第3期	第4期
期間	発災～72時間	4日～1ヶ月	2ヶ月～6ヶ月	6ヶ月以降
過程	被災混乱期 (救急救命期)	応急修復期	復旧期	復興期
被災地状況	ライフライン破綻 医療機能困難 避難所設営・アセスメント	支援物資の調整 避難所開設・管理運営 福祉避難(室)対応 福祉避難所開設・準備	避難所集約化 福祉避難所への移行 応急仮設住宅へ移行 在宅被災者支援	避難所退去 応急仮設住宅 復興住宅 コミュニティ支援
災害医療	救命・救助	医療救護 公衆衛生支援	仮設診療 巡回診療	地域医療再生
支援チーム	保健医療福祉調整本部 DMAT・DPAT DHEAT(保健所支援)	JMAT JRAT JDA-DAT 神奈川DWAT (かながわ災害福祉広域支援ネットワーク)	CBRT(地域リハセンター) JRAT 神奈川DWAT 福祉避難室 福祉避難所への支援 活動 4～5日程度(移動含) 県福祉子どもみらい局 地域福祉課との協定(締結済)	CBRT(地域リハセンター)

県医療危機対策本部室災害医療Gと検討中
コロナ医療人材バンクの活用

DMAT : Disaster Medical Assistance Team (災害派遣医療チーム)
 DHEAT : Disaster Health Emergency Assistance Team (災害時健康危機管理支援チーム)
 DWAT : Disaster Welfare Assistance Team (災害派遣福祉チーム)

DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team (災害派遣精神医療チーム)
 JDA-DAT: Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team (日本栄養士会災害支援チーム)
 JRAT : Japan Rehabilitation Assistance Team (日本災害リハビリテーション支援協会)